

創建

そうこん

巻頭言：浦部智義 ・1

令和6年度 卒業研究テーマ一覧 ・2~3

令和4年度 就職状況報告 ・4~5

ネットワークOB&OG_25：高桑健一 ・6

研究発表/教室ニュース ・7

令和5年度 建築学教室教職員名簿 ・8

2023・7・20 VOL. 58 NO. 1 (通巻183号)

■ 日本大学・工学部・建築学教室 ■

本稿のタイトルは、「気が狂いそう…」の歌詞ではじまる、THE BLUE HEARTSの曲名である。パンクな名曲をいくつもつくり出している、この名バンドの歌詞は演奏やパフォーマンスの激しさと裏腹に、どれも人間味や優しさに溢れていると感じている。「叫ばなければ やり切れない思いを…大切に捨てないで」と、感受性の強い心を持つことで人に優しさを振舞う様になれると言いたげな歌詞も、心のバランスを保つ様々な気付きを与えてくれる。

考えて見れば、デザインをはじめとする建築という行為も、その時から未来に続く時間軸を意識して、使われ方や人に与える印象を想像しながらカタチを提供するといった、人に働きかける行為である。薄学な若輩が僭越だが、そこには、やさしい気持ちを持つだけでなく、やさしさを提供する振舞い、場合によっては、人にやさしさを提供する役を演じることが求められている感じもする。

ところで、その様な意識を獲得するはじまりは、家族や友達どうしの間で、年齢と共に無意識から意識的に、相手(周囲)のキャラクターを尊重しながら自分(や自分の考え)を何とか表現しようとする、小学生くらいであろか。その後、学校のクラスや部活動という様な単位において、はじめて自分のキャラクターと自分がある小さな世界での役割分担を客観的に意識し始める個人がいる。そのあたりが公共性を認識するはじまりであり、建築にも深く関係する様な、豊かな公共を提案し創造できる基本になるのではな

いかとも思う。

その様な思いやりや公共性を持った人(役者)が存在することが、色んな形で各個人をつなげ、(実働が活発であることがベースだとしても)いわゆる活き活きとしたグループ、まとまりのあるクラス、楽しい部活となる条件

である様な気がする。今の若い世代では、その役割自体が消滅しはじめていているといわれているが本当だろうか(手段や表現が変わっただけだろうか)。その図式は大人の社会にも連続し、どの時代でもある種の普遍性を持っているという証の一つとして、そういう役者がオペラやシェークスピアの戯曲、芝居などでもストーリーを充実させるために良い道化師(ピエロ)として登場する。ある時は、切り込み隊長、ある時は接着剤、ある時は主役にもなる道化師は、話を面白くする(豊かに創造する)ために必要不可欠な存在で、やさしさを振りまいている。

建築にも関係するまちづくり分野では、地域活性化が成功する条件として必要な者

人にやさしく

教授 浦部智義

は、①外部からの視点を持ち古くからのしがらみに囚われない：「よそ者」、②斬新で新鮮な発想と行動力がある：「若者」、③時に周囲から嘲笑されても自分の信じた道をはしる：「ばか者」、といわれている。個人的にはそれに加えもう一役、道化師的な「役者」を必要とする気がする(「ばか者」が進化してその役割を兼ねても良いか)。それが、ワークショップやまちづくりの牽引役となる有能なファシリテーターなのかも知れないが、その役割には、関係者それぞれの立場をつくれる、やさしい振舞いは必須かなとも思う。

建築も似た様な側面があるが、やさしさの授受には時間差が生まれるものもある。例えば、環境問題で「地球にやさしい」という言葉が出て来る。二酸化炭素による温

暖化やオゾンホールの問題など、特に近代以降の人類の営みによって、地球が悲鳴をあげているので、地球を思いやりましょう。しかし、地球には長い時間を掛けて自分で自力回復できるか、或いは、それは難しいとしても太陽系の一惑星としては存続できる能力があるという話もある。つまり、困るのは人間であって、「地球にやさしい」のではなく「人にやさしく(地球を守ろう)」と言った方が適切なかもしれない。環境問題に限らず、何かを持続させるための創意工夫や振舞いが、次世代へのやさしさにつながるし、また、逆のことも起こり得よう。

次世代に関連して、昨今話題になっているChatGPT等の様な「自動生成AIツール」は、著作権やオリジナル性、また多岐にわたる職業の専門性をも脅かす存在として警戒もされている。タイトルの歌詞の中に「期待外れの言葉をいう時は、…頑張れって言っている。聞こえて欲しい。あなたにも」というフレーズがあるが、今の価値基準を脅かすなどで安易に頼れない期待外れのツールからスタートしたとしても、最終的には、同じく歌詞のフレーズ「人はだれでもくじけそうになるもの…今だって、僕だって」にある、道標が見つけ難く何かとつまずきがちな現代、そこから立ち直るキッカケを与えてくれる様な、人(や社会)にやさしいツールであることを実感したいと思う。

そんなことを考えている自分はと言えば、時にパンクなTHE BLUE HEARTSの「やさしいうた」を聞き歌いながら、幅広く解釈できる歌詞を手がかりに、「人にやさしく」という意識を持つことやそう振舞える勇気と行動力を身に付けることを自分の目指す姿としながらも、よりやさしさを享受したいとも思っている未熟な大人(役者)であることを実感しているのである。

令和6年度 卒業研究テーマ

現在、建築学科には16の研究室があり、分野の違いから大きく区分すると、構造、材料・施工、環境、建築計画、都市計画、歴史・意匠の系に分類されます。各研究室は、それぞれの領域で専門的な研究・教育を行っています。

卒業に必要な科目の一つである卒業研究は、4年次生の期間に一年間を掛けて取り組みます。研究室に所属し教員や院生からアドバイスを受けることで、専門的な研究を実施することができます。まずは、「どのような卒業研究をしたいのか」を念頭にして、研究室を選択することが必要です。

卒業研究は論文と設計のどちらかを選択することができます。但し、研究室の分野的な特徴から、論文もしくは設計のどちらかに限定している研究室もあります。各研究室で定めている選択肢は、研究室名に続く[]で表記しています。

構造系	鋼構造デザイン研究室 〔論文〕 教授：浅里 和茂 1. 鋼構造接合部に関わる研究 2. 鉄骨造骨組の耐力と変形状に関わる研究 3. 構造物の地震時挙動に関わる研究 4. 耐震診断および改修の判定評価結果に関わる研究 5. 各種構造物の構造デザインに関わる研究	空間構造システム研究室 〔論文〕 准教授：野内 英治 1. 空間構造に関する研究 2. 各種構造の設計・解析に関する研究 3. 構造物の振動・耐震に関する研究 4. 構造解析ソフトウェアの開発 5. その他(要望に応ずる)
	コンピュテーション応用力学研究室 〔論文〕 教授：ガン プンタラ ステンリー 1. 自然現象や生物の行動的な考え方を利用した 構造物の最適化に関する研究 2. 無重力状態で自己釣合い・自己展開できる 構造物(テンセグリティー)の研究 3. テンセグリティー構造の概念に基づいて細胞骨格の 機械的性質を解明する研究 4. 深層学習(人口知能)を用いた地震時特定階層震度階級 のリアルタイム推測システムの開発 5. 平坦な紙から立体になる制作方法や、立体の形状から 平坦な紙にする計算方法の研究	構造解析研究室 〔論文〕 専任講師：日比野 巧 1. 耐震補強効果の評価手法に関する研究 2. 既存建物の立体振動性状に関する研究 3. 建物の減衰評価に関する研究 4. 建物の構造解析モデルに関する研究 5. 液状化現象に関する実験
	振動システム研究室 〔論文〕 教授：千葉 正裕 1. 工学部構内にある教室棟の振動性状に関する研究 2. 郡山市域の地盤特性に関する研究 3. 建物の振動解析法に関する研究 4. 工学部構内にある情報研究棟及びその周辺地盤に おける地震動観測	鉄筋コンクリート構造デザイン研究室 〔論文〕 専任講師：堀川 真之 1. 極大地震により損傷する鉄筋コンクリート造建物の 補修費用の推定 2. 福島県沖地震で被災した鉄筋コンクリート造建物の 復旧性能評価 3. 曲げ圧縮破壊する鉄筋コンクリート梁の実験と 妥当性確認 4. 既存建物を対象とした非構造部材の損傷低減を 可能とする補修・補強法の提案 5. エネルギーの釣合に基づく骨組解析の高度化と 応用に関する実践的研究

材料・施工系	鉄筋コンクリート(RC)構造・材料研究室 〔論文〕 教授：サンジェイ パリーク 1. 自己治癒・自己修復機能を有するコンクリートの研究・開発 2. ジオポリマー(セメント使用しない)複合体に関する研究・開発 3. 相変化材料(PCM)の建物への適用に関する研究・開発 4. SDG'sを中心とした建築材料による二酸化炭素の 削減に関する研究・開発 5. 建築材料及び高強度コンクリートの防火・耐火性能と その改良についての研究 6. インド住宅用の省エネ新構法や 歴史的石造建造物調査・保存の研究 7. 宇宙建設に関する研究 8. コンクリート電池の研究・開発	建築材料学研究室 〔論文〕 准教授：齋藤 俊克 1. ポーラスコンクリートの静弾性係数推定法の確立 2. ポーラスコンクリートの強度及び耐久性の改善 3. RC構造物用表面被覆材または断面修復材としての ポリマーセメントモルタルの性能評価 4. 自然環境下におけるコンクリート系材料の耐久性評価 5. 各種プレキャストコンクリート製品の製造法が その性能に及ぼす影響 6. 高耐久性塗料の性能評価
--------	---	--

環境・設備系

建築計画系

建築計画研究室 [論文・設計]

教授: 浦部 智義

1. 文化・医療・教育など施設・空間に関する研究と計画

2. 農村舞台など地域資源の役割・活用に関する研究と計画

3. 構法も含めた環境デザイン建築に関する研究と計画

4. これからの建築・都市空間に関する研究と計画

5. これからの住まい・まちづくりに関する研究と計画

医療・福祉建築デザイン研究室 [論文・設計]

准教授: 山田 義文

1. 高齢者や重度肢体不自由児者の居場所づくり

2. 医療・福祉施設における災害発生時の避難計画

3. 改正バリアフリー法施行後の小中学校の環境整備

4. 古民家等、地域資源の福祉転用による利活用

5. 車椅子使用者用便房における空間寸法の有効性

6. シェアする居住形態のインクルーシブデザイン

7. 案内サインなどのカラーユニバーサルデザイン

住環境計画研究室 [論文・設計]

専任講師: 市岡 綾子

1. 居住空間、住環境、子育て環境に関する研究

2. 地域におけるまち資源の活用に関する研究
(主に、歴史的資源や公共的資源)

3. 景観まちづくり・景観学習に関する実践的研究

4. 地域住民等との協働による居場所づくり研究

5. 環境と人々との関係に関する環境行動研究

建築・地域計画研究室 [論文・設計]

専任講師: 宮崎 渉

1. 地域計画・地域デザインに関する研究

2. 既存建築ストックの再生・活用に関する研究

3. 地域振興施設のあり方に関する研究

4. 木造・木質建築の利用者評価に関する研究

5. 今後の建築とデジタルファブリケーションの可能性に関する研究

都市計画研究室 〔論文・設計〕 教授：廣田 篤彦 1. 空き家の実態と対応に関する研究 2. 道の駅の運用に関する研究 3. 外国人観光客の行動特性に関する研究 4. オリンピックのホストタウンに関する研究 5. 防災教育の現状と課題に関する研究 6. 地域おこし協力隊の現状と課題に関する研究 7. 地方都市における移住の現状と課題に関する研究	助教：高橋 岳志/教授：廣田 篤彦 1. 木質建築の生産システムに関する研究 2. 画像解析技術を用いた外空間の構造分析に関する 基礎的研究 3. 地方を中心に活動をする建築家に関する研究 4. 木造建築物の設計に関する研究 卒業設計は各自がテーマを設定し、調査・文献などの情報を まとめた上で取り組んでもらいます。
--	--

建築歴史意匠研究室 〔論文・設計〕 教授：速水 清孝 〔論文〕 1. 建築・都市の歴史に関する研究 2. 建築・町並みの保存と活用に関する研究と実践 3. 建築技術の歴史に関する研究 4. 建築家の作家論に関する研究 5. 建築技術者の職能と法制に関する研究 〔設計〕 1. 持続可能な社会に向けた建築の提案 2. 歴史からの発想を踏まえた建築や都市への提案	建築史研究室 〔論文・設計〕 専任講師：山岸 吉弘 建築史研究室では、各自で自由に卒研テーマを設定します。 「建築史」という観点からの研究であれば、論文だけでなく設 計を選択することもできます。 これまでに取り組まれた主なテーマには、「社寺、民家、城 郭、まちなみ、都市、宿場町、職人」などがあります。現在では、 古民家の研究を重点的に実施しています。
--	--

令和４年度 就職状況報告

令和４年度の求人件数は1,151社となり、前年度と比較して約200社増加しました。依然として求人件数は非常に高い水準を維持しています。また、学部と大学院を合わせた就職希望者は計181名に対し、就職者が181名となり、昨年同様内定率100.0％を継続達成しております。**図1**には、工学部の求人企業数の本社所在地と就職者数の都道府県別分布を示しています。

求人企業の内、494社(42.9％)は東京都の企業で最も多く、関東の企業が198社(17.2％)、東北の企業が173社(15.0％)、近畿の企業が102社(8.9％)となりました**【表1】**。

令和４年度の就職者を見ると、東京の企業へは68人(37.6％)が占め、次いで東北38人(21.0％)、関東29人(16.0％)の学生が就職する結果となりました。昨年度は東京が31.7％、東北が29.3％でしたので、東京の企業に就職する学生が増加しています。

就職先業種を見ると例年と同じく建設・エンジニアリングの業種が多く、75名(36.9％)の学生が就職しました**【表2】**。続いて、住宅・不動産の業種に49名(24.1％)の学生が就職し、昨年度と同じ傾向が見られます。

表1:地域別求人企業数・就職者数

求人企業数(社)	(%)	就職者数(人)	(%)
東京都	494	68	37.6
関東	198	29	16.0
北海道	10	1	0.6
東北	173	38	21.0
甲信越	40	8	4.4
東海	72	17	9.4
北陸	17	2	1.1
近畿	102	15	8.3
中国	16	0	0.0
四国	11	1	0.6
九州	18	2	1.1
外国	0	0	0.0
計	1151	181	

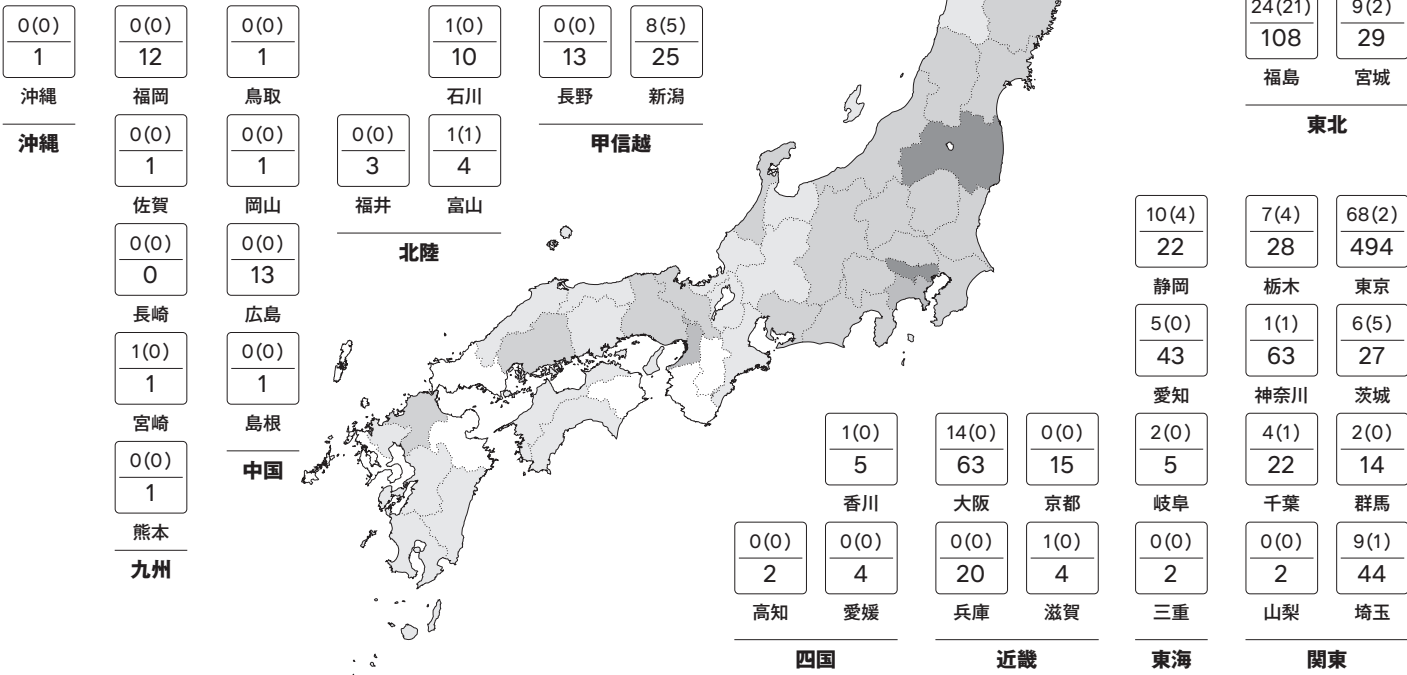


図1:都道府県別の工学部建築学科求人企業数と就職者数

表2:企業業種別にみた就職者数と応募区分

就職先業種	就職者数				推薦応募			
	男子		女子		総計		男子	女子
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(人)
A 建設・エンジニアリング	65	36.9	10	25.0	75	36.9	3	0
B 建築設備	5	2.8	1	2.5	6	3.0	2	0
C 住宅・不動産	38	21.6	11	27.5	49	24.1	2	0
D 設計事務所・コンサルタント	12	6.8	7	17.5	19	9.4	0	0
E 製造業・建築関連	9	5.1	1	2.5	10	4.9	0	0
F 官公庁	7	4.0	2	5.0	9	4.4	0	0
G その他	21	11.9	5	12.5	13	6.4	0	0
H 進学	19	10.8	3	7.5	22	10.8	0	0
就職・進学者数	176		40		203			

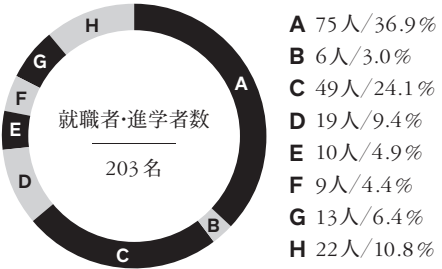


図2:進路先分布

表3:工学部求人数の推移

西暦	全域	東京	関東	東北
2007	1543	694	240	122
2008	1374	674	202	109
2009	1052	515	143	105
2010	971	455	149	115
2011	913	408	137	133
2012	1118	480	167	180
2013	973	382	136	224
2014	1208	493	176	237
2015	1100	491	167	163
2016	1272	525	206	202
2017	1019	434	173	165
2018	977	413	175	162
2019	935	396	151	155
2020	1213	550	216	148
2021	962	397	167	151
2022	1151	494	198	173

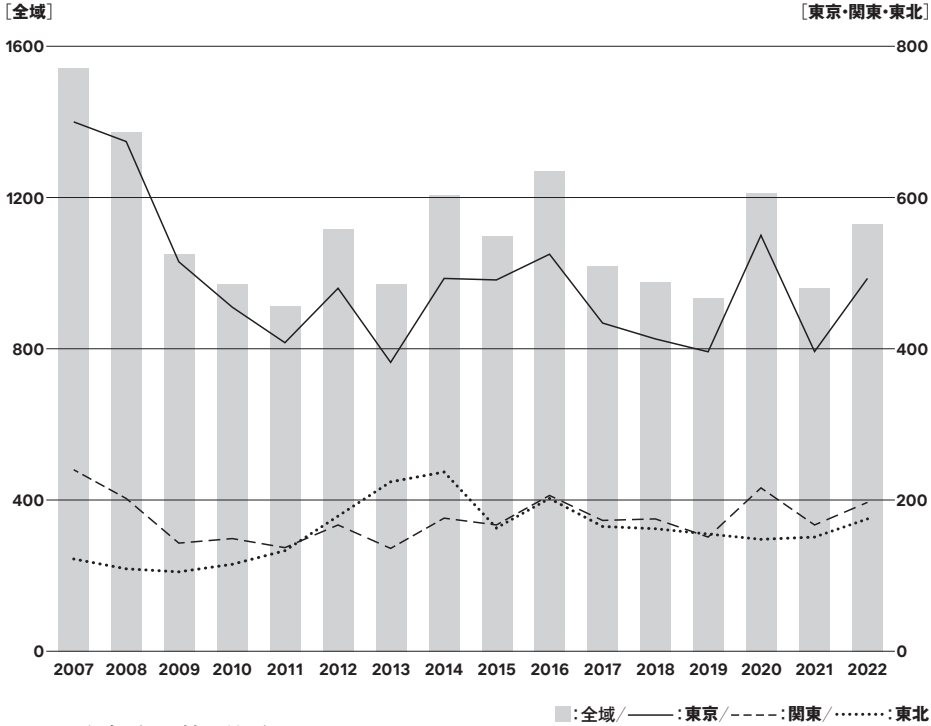


図3:工学部求人数の推移

[主な就職先]

●建設・エンジニアリング

- 鹿島建設(株)
- 大成建設(株)
- (株)竹中工務店
- 五洋建設(株)
- 新日本建設(株)
- 大豊建設(株)
- 大東建託(株)
- TSUCHIYA(株)
- 東建コーポレーション(株)
- 東洋建設(株)
- 戸田建設(株)
- (株)巴コーポレーション

- 西松建設(株)
- (株)ピーエス三菱
- (株)福田組
- 松井建設(株)
- (株)穴吹工務店
- 株木建設(株)
- 木内建設(株)
- クレハ建設(株)

●建築設備

- (株)ユアテック
- (株)大気社
- 大和ハウス工業(株)

- 積水ハウス(株)

- 住友林業(株)

- タマホーム(株)

- ケイアイスター不動産(株)

- (株)一条工務店

●設計事務所・コンサルタント

- (株)日建設計
- (株)構造計画研究所
- (株)三栄建築設計
- (株)日立建設設計
- (株)レーモンド設計事務所

●製造業・建築関連

- コクヨ(株)

- 大建工業(株)

- (株)乃村工藝社

●その他

- (福)福島県福祉事業協会
- (国研)日本原子力研究開発機構

●公務員・団体職員

- 国土交通省 東北地方整備局
- 国土交通省 関東地方整備局
- 茨城県庁

●進学先

- 日本大学大学院工学研究科 博士前期課程建築学専攻
- 信州大学大学院 総合理工学研究科 工学専攻建築学分野
- 東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学コース

ネットワークOB&OG_25

出会いの原点・家族大学 工学部 《挑戦したり、試したり》

大建工業株式会社 商品企画部 次長 高桑 健一（建築47回）

高校3年の夏、大学進路について悩んでいたところ、職員室の窓辺で熱心にアドバイスを下さったのは、当時高校教諭で現在工学部土木工学科の永田進先生（建築22回）だった。担任の中澤俊一先生（現 常葉大学付属菊川高校長）とも話し合いを重ね、加えて、当時開港した関西国際空港の建物、インフラの総合的な計画に感銘を受け、そんな仕事を夢見て建築計画、環境、構造、材料といった充実したカリキュラムを有す日本大学工学部建築学科への入学を決めた。

工学部では、様々な人との出会いや交流から多くを学んだ。挑戦したり試したりする原点がここにある。

製図の課題となれば、手を抜く者は少なく、学内や図書館で調べ、相談し、悩み、仲間の製図をみて刺激され、競い合ってこなした記憶がある。終われば、サッカーやスキーに全力で汗を流したもので、工学部の仲間は比較的真面目で切り替えができていたと感じる。

クラブ活動では、建築研究会の会長として、文化祭や学生コンペの出展のために、徹夜続きで製図や大型模型の製作を行った。今振り返ると表現方法やコンセプトに受賞作品との差が伺えるが、当時は精一杯の時間と仲間との談議を交わしたもので、その時に見て、聞いて、調べたものは財産である。加えて、2年後輩の妻に出会い、現在は、妻と2人の娘と平凡に暮らしている。

ユニバーサルデザインが謳われ始めていた頃、故 佐藤平名誉教授の建築計画第一研究室に入室して、研究内容、論文制作はもちろん、上下関係や人間関係についても自然と教えて頂いた。ここも妥協を許さない集団で、論文提出時には深夜に及び、研究室の椅子や応接セットで仮眠を取りながら期限ギリギリまで修正を繰り返した。社会に出て、同研究室の先輩方と仕事をする機会があるが、当時の厳しさや楽しさを分かち合い、互いを理解するスピードが速い事に驚く。

研究を通して、福島県障害者スキー協会ならびに障害者スポーツ協会の皆様にも大変お世話になった。研究対象としての交流がきっかけではあったが、結果的に、当時食べ盛りの私達をご自宅にお招き頂き、よくご飯をご馳走になった。今でも交流がある長い付き合いで、当時の研究室メンバーの近況を逆に教えてもらう事もある。これも財産のひとつ。

就職は、皆と違うコトがしてみたいと当時は感じたらしく、建築はもちろん、化学、林産、機械、電気、医療等、様々な要素を取り入れている業務の幅広さに興味を持ち、建材メーカーの大建工業株式会

社に入社した。S&A部（現 音響製品部）開発課に配属となり、岡山の地から社会人をスタートした。

2001年、入社してすぐに、2年後の建築基準法改定に向けて、低VOC商品や24時間換気システムの開発担当となる。建築音響をベースに、音響、換気、調湿、UD建材等、多分野の商品開発に携わることができた。ここでも多くの人との出会いに支えられながら他社との共創により、多数のオリジナル商品を開発、発売した。但し、発売前の厳しい審査にクリアできず、お蔵入りした商品の方が多い。

2012年にはマーケティング部へ移動となり、会社全体の企画開発を担うことで、改めて、自社ソリューションに気が付き、視野も広がったと感じている。

当社はこれまでの住宅分野に加えて、非住宅分野にも力を入れていく中計方針を打ち出した。これに伴い、2021年から、非住宅分野の開発力を高める目的で、複数の企業が共創を目的に集っているpoint0に参画した。私も、同年10月から株式会社point0の取締役（2023年6月退任）として、大建工業との兼務で企画開発業務を行い、数々の企画をスピード感持って手掛ける事ができた。他社から学ぶことが多く、商品開発に留まらず自社の企画開発の仕組みの見直しも手掛けている。“アジャイル開発”の手法を建材の開発にも取り入れ、社内から流行らせようと思う。

自社のこれまでの技術を見直して、新たな分野へのソリューションの展開に挑戦している。ここでは、日大工学部ネットワークも生かし、様々な分野で働く仲間からアドバイスをもらったり、試作品の評価会に参加してもらったりと、日大の仲間とは仕事でもプライベートでも大切な関係として付き合わせてもらっている。

昨年母校を訪ねる会に参加して、同級生（建築47回）の日比野巧先生、高橋岳志先生が母校で教える立場として活躍している姿を目の当たりにして、感慨深いものがあった。久々の再会であったが、お互いの近況や相談もした。学生時代は、建築士を夢見て、学生コンペや製図、模型作りに没頭していたが、現職は私を含めて当時の想像を超えている。また、様々な分野で活躍する仲間を見ると、刺激を受ける。

在学生の皆さんも、共に過ごす時間が長い仲間とは様々な相談をすることであろう。日大の仲間とは、そんな関係がこれからも長く続くと思う。出会いや経験を胸に、自身の感性でそれぞれの財産を作り上げて年を重ねて欲しい。常に好奇心を持ちながら挑戦していこう。

終わりに、大学院を卒業するまでの6年間、仲間と共に過ごした時間やそこでの出会いという財産が、現在の職務においての人々との関係性を構築する上で大きな影響を与えてくれていると思う。これを与えてくれた日本大学工学部という存在に改めて感謝したい。

研究発表／教室ニュース

- 田中秀暉・齋藤俊克・出村克宣・日比野巧「ポリマーセメントモルタルを結合材としたポーラスコンクリートの圧縮および曲げ強度性状」セメント・コンクリート論文集 Vol.76, pp.261 -267, March 2023.
- 田中拓弥・齋藤俊克・出村克宣・日比野巧「ポリマーセメントモルタル被覆コンクリートの中性化抵抗性に及ぼす吸水調整材による下地処理効果」セメント・コンクリート論文集 Vol.76, pp.365 -371, March 2023.
- 荒木裕人・福井拓也・神田利之・齋藤俊克「再乳化形粉末樹脂を用いたポリマーセメントモルタルの電気抵抗率に及ぼす調合因子と材齢の影響」セメント・コンクリート論文集 Vol.76, pp.461 -467, March 2023.
- 浅野和香奈・岩波光保・津田誠・子田康弘・浦部智義・岩城一郎「市民協働と人材育成に立脚した橋のセルフメンテナンスモデルの分類と役割に関する検証」日本土木学会インフラメンテナンス実践研究論文集 Vol.2 No.1, pp.21 -30, 2023年3月
- 荒木裕人・福井拓也・神田利之・齋藤俊克「再乳化形粉末樹脂を用いたポリマーセメントモルタルの電気抵抗率に及ぼす調合因子と含水率の影響」コンクリート工学年次論文集 Vol.45 No.1, pp.922 -927, June 2023.
- 西陸登・齋藤俊克・出村克宣「ポリマーセメントモルタルの圧縮および曲げ強さ推定式の検討」コンクリート工学年次論文集 Vol.45 No.1, pp.928 -933, June 2023.
- 田中秀暉・齋藤俊克・出村克宣「応力増加速度および供試体寸法を変化させて試験したポーラスコンクリートの圧縮性状」コンクリート工学年次論文集 Vol.45 No.1, pp.1156 -1161, June 2023.
- 渡邊洋一・浦部智義・滑田崇志・田中重夫「嵌合形状加工木材を用いた非接着接合による柱間木ねじ積層パネルの可能性と課題」日本建築学会技術報告集72号, pp.656 -661, 2023年6月

第77回セメント技術大会（東京） | 会期：2023年5月17日（水）～19日（金） | 会場：赤坂インタースティコンファレンスおよびオンライン

- ポリマーセメントモルタル被覆コンクリートの塩化物イオン浸透抑制効果に及ぼす吸水調整材塗布の影響……………○西陸登・齋藤俊克・出村克宣
- ポリマーセメントモルタルを結合材とするポーラスコンクリートの小型供試体における強度性状……………○田中秀暉・齋藤俊克・出村克宣
- 第86回日本建築学会東北支部研究講演会 | 会期：2023年6月25日（日） | 会場：オンライン**
- セルフリノベーションによる空き家の利活用の課題と可能性に関する研究 その1 学生主体による計画・実施事例を通した課題……………○高坂玲音・山田義文
- 福島県郡山市における古民家に対する一般市民の認識調査と今後の展望——「子供世代」の意識と古民家を取り巻く周辺環境についての研究——……………○井上真聖・山岸吉弘

- 「開かれた美術館」に関する歴史的研究（1945-85）その1 日本の公立美術館における概念の形成と展開について……………○鈴木ひなた・速水清孝
- 「開かれた美術館」に関する歴史的研究（1945-85）その2 日本の公立美術館の飲食部門の展開について……………○川島由梨・速水清孝
- 個別要素法による骨組構造物の解析に関する基礎的研究……………○長島周・野内英治
- 吸水調整材塗布後ポリマーセメントモルタルで被覆するコンクリート表面被覆工法におけるそれらの塗布量及び被覆厚さがコンクリートの中性化抵抗性に及ぼす影響……………○西陸登・齋藤俊克・出村克宣
- 再乳化形粉末樹脂を用いたポリマーセメントモルタルの電気抵抗率に及ぼす含水率の影響に関する一考察……………○荒木裕人・齋藤俊克・出村克宣
- ポリマーセメントモルタルを結合材とするポーラスコンクリートの静弾性係数推定のためのポリマー混入係数の検討……………○田中秀暉・齋藤俊克・出村克宣

- 浦部智義教授は、建築雑誌2023年3月号「特集 漂白の地表で」に「復興と日常を考える——被災地で継続している活動を通して」を寄稿した。
- 3月2日に富岡町高齢者散歩マップに掲載された増田隼さん（令和3年度市岡研卒）のイラスト原画が富岡町の学びの森町民ホールに展示された。
- 市岡綾子専任講師と市岡研究室は、3月14日、4月11日、5月9日、6月13日に富岡町清水・上郡山・下郡山地区高齢者散歩マップ制作WSに参加した。
- 3月22日に市岡綾子専任講師と市岡研究室が携わった白河市お試し住宅まちなかベースの完成披露会が現地で開催された。
- 山田義文准教授は、3月30日に福島県建設設計協同組合より福島県社会福祉事業団「救護施設福島県からまつ荘建設設計業務」に係るプロポーザル審査委員を委嘱された。
- 森山修治教授は、「令和5年度 建築士定期講習テキスト」（公益財団法人 建築技術教育センター、pp.v-72 – v-87、令和5年4月1日）の「2.最近の新技术、最近の重要技術項目等」に「2.3 異常気象と災害」を執筆した。
- 市岡綾子専任講師は、4月7日に環境省より令和5年度「脱酸素×復興まちづくり」FS委託業務に係る公募審査委員会委員を委嘱された。
- 廣田篤彦教授と高橋岳志助教は、4月10日に福島県西郷村より西郷村新庁舎建設検討委員会の委員を委嘱され、廣田教授は同委員会の委員長に選出された。
- 浦部智義教授は、4月14日に福島県から福島県土木部指定管理者選定委員会（建築）委員（委員長）を委嘱された。
- 浦部智義教授は、4月28日に郡山市から郡山市文化・スポーツ施設等指定管理者選定審議会委員（委員長）を委嘱された。
- 4月29日に市岡綾子専任講師と市岡研究室・園田駿希さん（宮崎研）が白河市との共同研究で制作した白河市中心市街地模型（1/1,000）が設置されたしらかわ観光ステーションのオープニングセレモニーが開催された。
- 市岡綾子専任講師は、5月2日に桑折町より桑折町都市再生整備計画（第2期）策定委員会委員を委嘱された。
- 市岡綾子専任講師と市岡研究室は、5月18日、30日に白河市立関辺小学校5年生を対象とした景観学習の支援活動を行った。
- 齋藤俊克准教授は、5月20日に日本大学校門建築会材料施工研究会第287回定例会において、「性能設計対応型ポーラスコンクリートの静弾性係数推定法の提案」と題して講演した。
- 浦部智義教授は、大熊町から5月25日に大熊町大野駅西商業施設整備事業に係る公募型プロポーザル審査委員を委嘱された。
- 浦部智義教授は、5月30日に福島県から福島県立宮下病院公募型プロポーザル審査委員会委員（副委員長）を委嘱された。
- 宮崎渉専任講師は、5月30日に福島県建築設計協同組合より「小野町児童館（放課後児童クラブ等）」の設計競技審査員を委嘱された。
- 鈴木七緒さん（浦部研卒）が、卒業設計作品「人の森：シェアステーション——シェアリングエコノミーから考える新しい公の空間——」で第54回毎日・DAS学生デザイン賞《金の卵賞》建築部門で入選した（5月31日）。
- 宮崎渉専任講師は、6月1日に日本建築学会より作品選

集東北支部選考部会委員を委嘱された。

■ 宮崎渉専任講師は、6月6日に福島県都市計画課より福島県開発審査会委員を委嘱された。

■ 浦部智義教授と浦部研究室は、6月7日に富岡町文化交流センターで行われた福島相双復興推進機構主催の第1回まちづくりワークショップ（富岡地区）に参加した。

■ 浦部智義教授と浦部研究室は、村制100周年記念として6月11日に葛尾村中学校体育館で行われた「能・狂言」の舞台——客席の計画並びに設置を行った。

■ 市岡綾子専任講師と市岡研究室ほか学生有志は、6月12日、20日に白河市立釜子小学校4年生を対象とした景観学習の支援活動を行った。

■ 森山修治教授は、6月13日に大本山永平寺（曹洞宗大本山）より永平寺の防火対策について指導を依頼され意見書を提出した。

■ 浦部智義教授は、6月17日に行われた第11回「ロハス工学シンポジウムロハスの家群跡地再生プロジェクト第2回（中間）報告会」で「ロハスの家群跡地再生プロジェクト建築のデザインや使われ方の想定」と題して講演し、内見会の案内を行った。

■ 森山修治教授は、6月19日に福島県防災危機管理課より本宮市（館町地区）の地域防災計画作成の助言を依頼された。

■ 浦部智義教授は、6月19日に福島県建築設計協同組合から「伊達・霊山総合支所庁舎改築基本設計業務」に係るプロポーザル審査委員（委員長）を委嘱された。

■ 白銀瑠子さん（浦部研卒）が、6月25日に行われた第46回学生設計優秀作品展—建築・都市・環境—（通称：レモン展）に、卒業設計作品「高島町駅2000m再開発——都市における新しいごみ処理施設の提案——」を出展し、優秀10作品に当るレモン賞を受賞した。

学術論文

学会発表

教室ニュース

令和5年度 建築学教室教職員名簿

専任教員

教授	浅里和茂	鋼構造	16 号館	1階	106	8734
教授	浦部智義	建築計画	45 号館	3階	304	8743
教授	千葉正裕	構造力学	16 号館	2階	204	8733
教授	濱田幸雄	建築環境工学	16 号館	3階	310	8752
教授	速水清孝	近代建築史	9 号館	3階	310	8872
教授	S.N. パリーク	建築材料学	9 号館	1階	102	8747
教授	廣田篤彦	都市計画	9 号館	3階	308	8749
教授	ブンタラS.G.	建築基礎構造	16 号館	2階	206	8735
教授	森山修治	建築設備	16 号館	3階	311	8751
准教授	齋藤俊克	建築材料学	9 号館	1階	114	8740
准教授	野内英治	応用力学	16 号館	2階	207	8744
准教授	山田義文	建築計画	45 号館	2階	205	8741
専任講師	市岡綾子	建築計画	45 号館	3階	305	8746
専任講師	日比野巧	構造力学	16 号館	2階	205	8753
専任講師	堀川真之	鉄筋コンクリート構造	16 号館	3階	106	8723
専任講師	宮崎渉	建築企画	45 号館	2階	207	8742
専任講師	山岸吉弘	日本建築史	9 号館	3階	309	8737
助教	高橋岳志	インテリアデザイン	9 号館	3階	307	8785

大学院
兼任教員・非常勤講師

非常勤講師	宇都宮雅人	建築職業倫理特論	16 号館	3階	310	8752
非常勤講師	滑田崇志	建築設計計画特別実習	45 号館	3階	304	8743
非常勤講師	濱尾博文	建築構造設計特別実習	16 号館	1階	106	8734
非常勤講師	米田正彦	建築職業倫理特論	16 号館	3階	310	8752

学部
非常勤講師

非常勤講師	阿部直人	建築設計	9 号館	3階	308	8749
非常勤講師	荒牧陽一	建築施工Ⅱ	16 号館	2階	204	8733
非常勤講師	畝森泰行	建築設計演習Ⅳ	9 号館	3階	310	8872
非常勤講師	岡野春彦	建築施工Ⅰ	16 号館	2階	204	8733
非常勤講師	金谷祐昭	建築測量演習	9 号館	1階	102	8747
非常勤講師	栗原隆	建築設計演習Ⅲ	9 号館	3階	310	8872
非常勤講師	佐久間宏一	建築設計演習Ⅰ	45 号館	3階	304	8743
非常勤講師	佐藤英次	建築設計	16 号館	2階	207	8744
非常勤講師	佐藤好男	建築測量演習	9 号館	1階	102	8747
非常勤講師	田中直樹	建築設計演習Ⅰ	45 号館	3階	304	8743
非常勤講師	田中雅美	建築設計演習Ⅲ	16 号館	3階	311	8751
非常勤講師	寺島守	建築設計演習Ⅳ	9 号館	3階	310	8872
非常勤講師	中山武徳	建築設計演習Ⅱ	9 号館	3階	310	8872
非常勤講師	鍋田友宏	建築造形演習	45 号館	3階	305	8746
非常勤講師	原澤一仁	建築設計	16 号館	2階	207	8744
非常勤講師	檜山延雄	建築設計演習Ⅱ	9 号館	3階	308	8749
非常勤講師	平野由朗	建築設計演習Ⅳ	45 号館	3階	304	8743
非常勤講師	藤倉祐介	建築材料実験	9 号館	1階	102	8747
非常勤講師	松田知子	建築設計演習Ⅲ	9 号館	3階	310	8872
非常勤講師	渡部和生	建築設計	9 号館	3階	310	8872

事務職員

教室事務	小林まゆみ	建築学科センター	16 号館	3階	309	8730
------	-------	----------	-------	----	-----	------

[共通電話局番:024-956]

編集後記:前任の高橋先生から創建編集委員を引き継ぎました宮崎と申します。
工学部建築学科における魅力的な情報を積極的に発信してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

お願い:編集室までご意見・ご感想をお寄せください。
ceb.soukon@nihon-u.ac.jp